

V 日高振興局

1. 令和2年度「農トレ！ひだか」～第1回セミナー開催～

8月4日、日高地方4Hクラブ連絡協議会（会長：西山和克氏）と農業水産振興課の共催により、管内の若手の農業者や新規就農者等を対象とした研修会「農トレ！ひだか」の第1回セミナーを開催した。日高地方4Hクラブ員や就農支援センター研修生他計18名が参加した。今回は、農作業安全をテーマとし、県農業試験場暖地園芸センター研修館及び就農支援センターほ場にて、GAPの活用や農業機械の安全な操作方法、刈払機・トラクター等のセルフメンテナンスに関する研修を行った。

まず、当課の及川普及指導員から、GAPの認証や取り組みについて説明した後、参加者が労働安全に関するチェックリストを活用し、それに対するリスク評価をおこなった。続いて、株式会社キセキ関西中部の藤田圭祐氏より、農作業事故の概要や乗用トラクターを安全に使用するための点検・整備の大切さ、株式会社やまびこジャパン西日本支社の阿曾稜氏より、刈払機及びチェーンソーの安全使用に関する説明があった。

講演後は、上記の講習で使用した農機類のセルフメンテナンスについて、実演形式で講習を行い、参加者からは「チップソーの研磨する部分はどこ？」、「ラジエータの掃除のタイミングは？」など多数の質問があり、関心の高さが伺えた。

講演後のアンケート調査では、「農業機械使用の際安全確認の大切さや安全な使用方法を改めて確認できた」、「農業機械のメンテナンスは今後役立つ」などの意見があった。

当課では今後も引き続き、クラブ員や新規就農者に対して農業知識・技術の修得に向けた本研修会を実施していく。



GAPについて説明を聞く参加者



チェーンソーのセルフメンテナンス実演



トラクターのセルフメンテナンス解説

2. スマート農業実践塾（果樹コース）を開催

8月18日、県主催による標記講習会を日高川町小熊地区で開催し、農業者及び関係者ら31名が参加した。本講習会は、スマート農業技術の現場導入を加速化するため、今年度から開講しており、果樹コースについては各振興局単位で開催している。今回は、ドローンの販売、運用業務、スクール運営を行っている(株)未来図の藤戸輝洋氏を講師に招き、農薬散布用ドローンについて講習が行われた。

まず、農業におけるドローンの利用と関係法令について説明を受けた。その後、柑橘栽培圃場へ移動し、農薬散布用ドローンによる実演飛行を見学した。ドローンがみかんの樹上を1本ずつ旋回しながら農薬に見立てた水を散布する姿に、「これで防除できるなら楽やなあ」との声が上がった。

次いで写真撮影用ドローンを用い、参加者による操縦体験を行った。はじめは恐々触っていたが、離陸すると「意外と簡単」や「少しの操作で大きく動くので慣れが必要」との感想が聞かれた。

講習後参加者からは、「使用できる農薬が少ないという課題はあるが、省力化につながるので補助金を活用しグループによる利用なら導入を検討できる」との意見があった。



関係法令等を学ぶ



農薬散布用ドローンの実演



撮影用ドローンの操縦体験